



## 未来を夢見て Season 2

2021/5/24 No. 76

### 四つ葉のクローバー (幸運)

5月24日(月) 気持ちのよい週明けとなりました。通勤経路の風景も日増しに緑が濃くなり、こうなると間もなく「梅雨入り」間近でしょうか。昨年度は6月の学校再開のために5月後半は分散登校や入学式の準備で追われていました。感染症との戦いは予想以上に長期戦に入ってきました。まだまだ先は見えませんが、子供たちが以前の学校生活を1日も早く取り戻すことを心から願うばかりです。



2日間の臨時休業明けは校長の全校放送に続いて、各学級で学級指導、そして児童アンケートが実施されました。短時間でしたが、全学級参観させていただきました。どの学級でも担任の先生方が丁寧に指導されていましたが、特に印象的だったのは1年3組の小山久美子先生とこの日補欠で6年4組に入っていた菅原浩一先生です。お二人の先生に共通しているのは、指導内容をご自分の言葉でかみ砕いて、目の前の子供に自分の言葉で熱く語っていたことです。流石に経験豊富な先生方は「ここぞ」という時の指導が違うなあ、と感心させられました。



臨時休業明けは同時に、Chromebook の使用法を中心とした「ICTタイム」が加速しました。予定よりも大幅に前倒して準備を行い、早速子供たちの手に渡ることになりました。実際に稼働してみると、「Wi-Fi の環境」の不具合、Classroom のルール、子供たちとの約束の徹底など、たくさんの課題が見えてきます。ただ、これらはすべて想定内で、最初から全てがうまくいくわけではありません。写真左は4年4組千葉先生の学級です。堀田先生が作成した指導用プレゼンに従って、子供たちと Meet での学習の仕方を確認しています。千葉先生や赤坂先生は休んでいるお子さんとも早速オンラインで結んで授業をされていたので感心しました。また、真ん中の写真は2年2組の ICT タイムです。子供たちが整然と Chromebook をキャビネットへ収納しています。こういうルールを1つ1つ作って、確認していくことが、今後の本校での ICT タイムの成否を左右します。いよいよ今週子供たちが Chromebook を家庭に持ち帰ります。初期設定や Wi-Fi の環境で問い合わせがあっても当然、という気持ちで対応しましょう。さて、右側の写真は四つ葉のクローバー(花言葉「幸運」)です。朝、いつも通り交差点で交通指導をしているとき、高学年くらいの子供がすれ違いざまに私に手渡して過ぎていきました。急な引き渡し、臨時休校など予期せぬ対応に追われた先週でしたが、雨の日ばかりではありません。この先きっと「幸運」があることを信じて子供たちと向き合っていきましょう。

(文責：手代木)